

失なわれたものの譬え③ 兄息子への愛

ルカの福音書15章25-32節
2013,5,26 HKJCF

概要

序)①弟息子の現実②神様の愛の現実

- | | |
|-------------------|-------|
| 1、兄息子の怒り | 25-28 |
| 2、兄息子の非難 | 29-30 |
| 3、父の当然 | 31-32 |
| 4、弟息子と兄息子(永遠のテーマ) | |

適用)クリスチャンは入信時は弟で、やがて兄息子になり易い いつも神様との愛の関係を最優先できるように祈ろう

I 兄の怒り

- 1、宴会の様子←BBQの香りとEギター?
畑から家へ、しもべの説明
- 2、放蕩三昧のろくでなしのために
- 3、家に入ろうともせず
→兄の怒りの原因は不公平感と裁き心、
根底にあるのは自己義認(長く続くパターン化した感情の原因は価値観と傷)
本心を出しにくい兄の被害者意識と怒り

II 兄の非難

- 1、父がなだめて
父は感情を受け入れた 感情が入口
- 2、兄の怒る理由(自己義認・正当化)
 - ①長年父に落ち度なく仕え(奴隷の如く)
 - ②友と楽しむため、子ヤギー匹下さらず
 - ③放蕩息子のためには、肥えた子牛を
→①自己義認:正当化と比較 ②父親像の偏向(自己の価値観の投影)と不満
③人格の無視と関係の断絶(創3:12)

III 父の当然

- 1、兄への愛
 - ①子よ(まず愛の関係からスタート)
 - ②あなたはいつも私とともにいる(父の心)
 - ③私の物(残りの財産)は全部お前の物
- 2、弟への愛 ①見守り②関係③喜びの宴
- 3、愛の当然←愛を最優先:愛の価値観
 - ①断絶関係の回復②息子(>僕)の新生
 - ③喜びと楽しみの宴:愛の当然・変な神様

IV 弟息子と兄息子

- 1、兄息子タイプ(業績>父との愛の関係)
- 2、弟息子タイプ(欲望>父との愛の関係)
- 3、実際は混在タイプが多い
 - ①2つの特性が自分の中にある
 - ②状況によって使い分ける
 - ③2つの特性(人格)が統合されず、混乱
→①混在型が多数②しかし、父なる神様の前では弟③人との関係では両者を認識し、受容し、統合することが重要な鍵